

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	29	道路
基本方針		
だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
羽村駅自由通路の拡幅等整備	計画どおり完了	A	A	A	完了
道路・橋梁の計画的な維持補修	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
セットバックの促進と隅切り整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
主要幹線道路の整備	計画を見直し完了	A	A	B	レベルアップ

3 施策評価結果

<p>施策29「道路」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」などの3事業については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。「主要幹線道路整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があるため、「計画を見直し完了」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「主要幹線道路の整備」において、社会情勢の変化など、様々な視点から問題点等の抽出を実施しており、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価し、その他の事業については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組む」ことであり、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」では、令和2年3月に工事が完了し、自由通路の拡幅により、駅利用者や東西地区への通行利用者の利便性や安全性の向上および、情報発信やイベント案内等に活用できる空間を整備し、自由通路としての機能の充実を図るとともに、「セットバックの促進と隅切り整備」では、建築基準法に基づくセットバック部分について、土地所有者から協力を得て舗装整備をした。</p> <p>また、「道路・橋梁の計画的な維持補修」では、「羽村市道路維持保全計画」に基づき、道路補修等工事を実施することで、道路の適正な維持保全に努め、安全で快適な道路環境の整備が図られていることから、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

1.基本項目		作成部署	都市建設部 建築課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	羽村駅自由通路の拡幅等整備 ※施策19に重複掲載	平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(全部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		土木課、企画政策課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	29	道路	管理No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路の拡幅等整備を計画的に進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	拡幅等整備の推進	同左		
	自由通路拡幅工事	同左		
	東口階段工事	同左		

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	602,219	368,622	-	-
人件費(係長職)	1,154	1,154	-	-
人件費(主任・主事職)	758	758	-	-
総事業費(合計)	604,131	370,534	-	-
国庫支出金			-	-
都支出金	138,395		-	-
受益者負担額			-	-
その他特定財源			-	-
一般会計繰入金	250,000	289,304	-	-
起債			-	-
一般財源(人件費含む)	215,736	81,230	-	-
財源内訳(合計)	604,131	370,534	-	-

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

関係部署における調整を行い、自由通路拡幅に関する平成31年度施行協定(平成31年4月1日)を締結し、早期完成を目指し、JRに対する働きかけを行うとともに、拡幅工事完了後の施設の管理協定について協議を行い、管理区域を決定し、管理協定を締結した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	368,622	-	368,622	298,743	81.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○拡幅等整備の推進 ○自由通路拡幅工事 ○東口階段工事		○拡幅等整備の推進 ○自由通路拡幅工事(完了) ○東口階段工事(完了)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

自由通路の拡幅により、駅利用者や東西地区への通行利用者の利便性や安全性の向上を図るとともに、情報発信やイベント案内等に活用できる空間を整備し、自由通路としての機能の充実とにぎわいの創出を図った。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

1.基本項目	作成部署	都市建設部				土木課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 道路・橋梁の計画的な維持補修		年				
01 市道補修等工事	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
02 市道補修等工事(補助)	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
03 市道FWD調査委託	平成 28 年		継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
04 道路ストック点検業務委託	令和 元 年		今年度限り	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
05 市道第201号線横断歩道橋撤去工事設計委託	令和 元 年		今年度限り	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
関連課						
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	管理No.	2

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	「羽村市道路維持保全計画」および「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に沿った、道路・橋梁の計画的な維持補修を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市道補修等工事 (市道第101、3028、4021号線 L=504m)	同左 (市道第101、202、1039、2090、2122号線 L=1,268m)	同左 (道路舗装修繕実施プログラムに基づく優先路線の整備)	同左 (道路舗装修繕実施プログラムに基づく優先路線の整備)
	道路の舗装構造評価(FWD)調査 L=360m	同左 L=2,100m	同左 L=2,000m	同左 L=2,000m
	歩道改修工事(市道第202号線 L=370m)			
	道路ストック点検委託 動物公園前歩道橋撤去設計委託		動物公園前歩道橋撤去及び交差点改良工事	

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	75 H	1 人	75 H	1 人	75 H	1 人	75 H
主事・主任職	3 人	300 H	3 人	600 H	3 人	600 H	3 人	300 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	19,592	121,371	105,837	77,652
人件費(係長職)	361	361	361	361
人件費(主任・主事職)	2,840	5,679	5,679	2,840
総事業費(合計)	22,793	127,411	111,877	80,853
国庫支出金		1,000		
都支出金	4,460	16,093	18,489	16,717
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	3,900	16,580		
起債				
一般財源(人件費含む)	14,433	93,738	93,388	64,136
財源内訳(合計)	22,793	127,411	111,877	80,853

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 2,293 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「羽村市道路維持保全計画」に基づき、道路の維持保全を実施しており、現地測量等を早期に行い、早期の工事発注及び完了を目指して取り組み、当初計画通り完了した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	121,371	3,903	125,274	113,777	90.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	75 H
主事・主任職	3人	1,800 H	1人	600 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○市道補修等工事 5路線 L=1,268m ○FWD調査委託 12路線 L=2,100m ○歩道改修工事 1路線 L=370m ○道路ストック点検委託 ○動物公園前歩道橋撤去設計委託	○市道補修等工事 6路線 L=1,562m ○FWD調査委託 12路線 L=2,205m ○歩道改修工事 1路線 L=227m ○道路ストック点検委託 ○動物公園前歩道橋撤去設計委託

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「羽村市道路維持保全計画」に基づく、道路補修等工事を実施することで、道路の適正な維持保全に努めており、安全で快適な道路環境の整備が図られた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

安全で快適な道路環境を維持するため、橋梁長寿命化修繕計画、道路維持保全計画及び道路舗装修繕実施プログラムに基づき、道路舗装の点検や調査を継続して実施し、道路状況などを随時把握する。その結果を基に各年度の予算への反映及び毎年度計画をローリングすることで適切な維持補修の対応を図る。

1.基本項目	作成部署	都市建設部				土木課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 セットバックの促進と隅切り整備		年				
01 道路拡幅(セットバック)舗装委託料	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
02 市道第7078号線測量及び設計等委託料		年				
03 市道第7079号線道路拡幅用地不動産鑑定委託料		年				
04 市道第7080号線道路拡幅用地補償物件調査委託料		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	管理No.	4	

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	狭あい道路のセットバックを促進するとともに、交差点の隅切り整備を進め、狭あいな道路の解消を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	セットバック部分等の舗装 面積 132㎡ 延長 105m (平成30年12月末現在)	同左 面積 180㎡ 延長 200m	同左 (施工箇所は、要望及び現地調査において決定)	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	1,518	2,200	2,200	2,200
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)	95	95	95	95
総事業費(合計)	1,662	2,344	2,344	2,344
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	1,500	1,900		
起債				
一般財源(人件費含む)	162	444	2,344	2,344
財源内訳(合計)	1,662	2,344	2,344	2,344

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 42 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

「狭あい道路等整備方針」に基づき、セットバック部分(108㎡)の舗装を行った。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,200	-	2,200	1,614	73.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○セットバック部分の舗装 180㎡ L=200m		○セットバック部分の舗装 108㎡ L=81m

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

建築基準法に基づくセットバックについて、18件の協力を得ることができ、延長295m(面積262㎡)について狭あい道路の解消が図れた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き広報及び市公式サイトにて、建築基準法に基づくセットバック等について周知し協力を得ることにより、狭あい道路のセットバックを促進するとともに、交差点の隅切り整備等を進め、狭あいな道路の解消を図り、市民生活の利便性と安全性の向上を図る。

1.基本項目	作成部署	都市建設部				土木課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 主要幹線道路の整備 ※施策19と重複掲載	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	29	道路	管理No.	6	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気にみちた商業の振興を図ります。
事業内容	市道第101号線・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	同左	関係機関との協議・調整	実施設計及び測量

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				8,100
人件費(係長職)	49	49	49	49
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	49	49	49	8,149
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	49	49	49	8,149
財源内訳(合計)	49	49	49	8,149

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討を行っているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など、様々な視点から問題点等の抽出を実施している。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討		○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。再整備に向けた検討については、引き続き、課題整理に取り組みメインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。また、道路整備に合わせ景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。

【今後の取組方針】

市道第101・102号線(市役所通り)については、神明台二丁目地区の整備の進捗状況や道路維持保全計画を踏まえ、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていく。